

## 2002年度 産業社会学会（教員・院生）共同研究会一覧

回 日 時	テーマおよび報告者
第1回（4月10日）	「福祉制度デザインの構想：グローバル化と持続可能な福祉国家」 Bo Rothstein氏（スウェーデン・イエテボリ大学教授）
第2回（5月17日）	「『障害をもつ子の親』という存在対象把握と支援の可能性について」 中根 成寿氏（本学社会学研究科） 「伝統芸能の保存における諸問題 京都市内における『六斎念仏』保存活動を事例に」 相原 進氏（本学社会学研究科）
第3回（7月5日）	私の研究 「優生学史研究の現代的意義」 松原 洋子教授
第4回（10月5日）	フォーラム「立命館大学にもユニバーサルデザインを」 シンポジウム 「障害学生サポートシステムを考える」 パネリスト 大泉 溥氏（日本福祉大学支援センター所長） 館林千賀子氏（同志社大学学生） 杉本 唯史氏（本学国際関係学研究科） 檜垣 智子氏（本学社会学研究科）
第5回（10月11日）	ワークショップ 「ドイツ工作連盟の再考察」 池田 裕子氏（京都国立近代美術館主任研究官） 「20世紀前半のドイツ美術と社会」 仲間 裕子教授
第6回（10月25日）	私の研究 「市民社会における放送のあり方 ～パブリック・アクセスを手がかりとして～」 津田 正夫教授
第7回（11月2日）	国際シンポジウム 「ヘルマン・ムテジウスとドイツ工作連盟 その歴史的位置付けと現代的意義をめぐって」 鈴木 博之氏（東京大学） 田所辰之助氏（日本大学） フレデリック・J・シュワルツ氏（ロンドン大学） フェードール・ロート氏（アーヘン工科大学） ローリー・A・スタイン氏（ピュリッツァー財団アート・センター館長）
第8回（11月29日）	「社会学の導入教育における課題と展望」 テキスト『基礎社会学講義』をもとに」 伊藤 公雄氏（大阪大学人間科学部教授）
第9回（12月20日）	「妊娠、出産期における子育て支援の課題」 医療生協プロジェクト：スウェーデン・イギリス視察報告」 佐藤 卓利氏（本学経済学部教授） 斎藤 真緒氏（本学人間科学研究所ポスト・ドクトラル・フェロー） 小嶋 理恵子氏（本学社会学研究科研修生）
第10回（3月18日）	「『恩の構造』再説」 (佐藤教授定年退職記念研究会) 佐藤 嘉一教授

2002年度に、学部共同研究会（共催を含む）として位置づけ開催した研究会一覧である。